

令和4年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立中原小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。	39.10%	全体は都の平均より2ポイント、全国の平均より5.4ポイント高かった。正答率が70%を超える問題が14問中7問あった。「話すこと・聞くこと」についての問題がいずれも90%を超えており、正答率が高かった。	「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えと比べるなどして考えをまとめること」「文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」という条件を満たして記述式で書く問題の正答率が低かった。互いの文章を読み合うことで書き方の工夫を認め合い、自分の表現に取り入れたり工夫したりできるよう指導を行っていく。合わせてタブレット端末を活用して友達の考えを共有することで、互いの学びを広めたり深めたりする。
	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで実践囲みでどのように話すか書く。	46.90%		
	【文章2】の中の実践部イを、漢字を使って書き直す。(はんせい)	60.90%		
	【文章2】の点線囲みの部分を、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する。	65.60%		
算数・数学	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。	25.80%	全体は都の平均より2ポイント、全国の平均より5.8ポイント高かった。正答率が75%を超える問題が14問中7問あった。図形の構成要素の理解の問題(89.8%)の正答率が特に高かった。	目的に合った数の処理を求める問題の正答率が44.5%、二つの数量の関係について考察する問題の正答率が25.8%であった。目的に応じて概算できるように指導していく。また、割合について理解できるよう、日常生活の具体的な場面と結びつけて指導を行ったり、デジタル教科書等を活用して視覚化したりして学習内容のより一層の定着を図る。
	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ。	44.50%		
	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180ml入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く。	53.90%		
	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す。	54.70%		